

出石組御同朋総結集大会
仏婦連明代主衣の発表



私達の出石組に仏婦連盟について、その今日に至ります経緯、それから現在の活動、そして今後将来へむけての抱負という三つのことについて報告させていただきます。

まず、出石組に仏婦連盟ができた経過について述べさせていただきます。

私達の出石組仏婦連盟は、昭和二十三年ご本山からの呼びかけがあつてすぐ年に結成されました。

恐らく、兵庫教区にあって最も早い結成であったと思います。

昭和二十三年ともうしますと、敗戦後、あのまだ混乱期でございました。

その混乱期に、いちはやく連盟結成ができたというのには、戦時中しばらくながら断はあつたにせよ、遠いしかも並々ならぬ伝統があつたからだとおもいます。

ご存じの方も多かるうと思いますが、この地方には、ずっと古い昔から、「最勝講」「女人講」「女中講」などとよばれる女性念仏者の講組織があり、ついでございました。

大正五年、ご本山から九条武子さまがこの出石にお越しになりました。ここでこれら別々にあつた講が寺単位・組単位に統合結集するかたちで、はじめて近代的なこの出石仏教婦人会が誕生したのでござります。

このように、私達の仏婦は、長いしかも貴い伝統を受け継いでいるのでござります。

昭和六十年、組画変更によって出石郡十四ヶ寺と日高町五ヶ寺が一つの出石組となり、したがって現在単位仏婦は十九会員数九百八十八名となつたのでござります。

組画変更ということは、私達仏婦にとても実は大変なことであったと思います。

それは組画が変更になつてみてわかつたことでした。が、それはこういうことでありました。

仏婦活動というものは、寺単位の単位について述べさせていただきます。

私達の出石組仏婦連盟は、昭和二十三年に結成されました。

恐らく、兵庫教区にあって最も早い結成であったと思います。

昭和二十三年ともうしますと、敗戦後、あのまだ混乱期でございました。

その混乱期に、いちはやく連盟結成ができたというのには、戦時中しばらくながら断はあつたにせよ、遠いしかも並々ならぬ伝統があつたからだとおもいます。

ご存じの方も多かるうと思いますが、この地方には、ずっと古い昔から、「最勝講」「女人講」「女中講」などとよばれる女性念仏者の講組織があり、ついでございました。

大正五年、ご本山から九条武子さまがこの出石にお越しになりました。ここでこれら別々にあつた講が寺単位・組単位に統合結集するかたちで、はじめて近代的なこの出石仏教婦人会が誕生したのでござります。

このように、私達の仏婦は、長いしかも貴い伝統を受け継いでいるのでござります。

昭和六十年、組画変更によって出石郡十四ヶ寺と日高町五ヶ寺が一つの出石組となり、したがって現在単位仏婦は十九会員数九百八十八名となつたのでござります。

その他、但馬ブロック研修会が今年は出石が当番で福成寺まで研修させていただきました。

代表参加になりますが、その他全国規模の総会・研修会も年々きつちりと参加させていただいております。

それからわが仏婦連盟のパワーを示すものに「念佛奉仕団」があります。

実際に二十回を越えて、毎年奉仕団を上山させたことは、もちろん先輩の仏婦役員の御苦労もさることながら、お念佛のうちに生きるわたしたち出石組仏婦の力を示すものと大いにほこつてもよいのではありませんかと思うのです。

山させたことは、もちろん先輩の仏婦役員の御苦労もさることながら、お念佛のうちに生きるわたしたち出石組仏婦の力を示すものと大いにほこつてもよいのではありませんかと思うのです。

もう一つptune活動について申しのべたいと思います。

ptuneとは、恵み・施しのことです。

如来様からいのち恵まれ願いほどござれている私達が、そのおめぐみのおすそ分けを、できるだけさせていただかねばなりません。現に組画変更になつて知りました。いろいろな単位が、ほんとにおみのりを聞き念佛に生きる仏婦となるには、それは19ヶ寺の仏婦が手をつなぐ以外にはないと思ひ至りました。

組画変更後、坊守さまを中心とし、並々ならぬ努力がなされた結果、いまようやく単位仏婦十九ができ、出石仏婦連盟として、差別なく、たがいに励まし合うます。

他の組織、総代会・仏社組織との協調共動の連携をお願いしたいということでもあります。

これはこの今日の大会のめざすことでもあります。

これはこの今日の大会のめざすことでもあります。

さて、出石仏婦連盟の活動の現況でございます。

まず研修活動ですが、年一度の総会も、だだの総会行事にしないで、追悼会とともに研修をすることにしております。

もう一つ、私、ここに浮き浮きご報告したいことがあります。

と申しますのは、この大会で、前途に明るい見通しができたということです。

それに、しかも仏婦のなかに、若いグループができたということです。

出石組佛教贊歌女性コーラス部のみなさんです。仏婦の老齢化、若婦人がいない仏婦など。

若い人々をとのようにおみのりの輪のかに参加してもらうかということは、全國仏婦の悩みの種でありました。

それが、この出石では、この大会を機に期せずしてできました。アツというまに50人のコーラスができあがりました。

なぜできたのか。

しかし、ここを手掛かりに若いお母さんへおみのりを伝えていく道がひらけたように思います。

この大会のもたらした成果を、私達は大切に発展させて行かなければなりません。

さて、出石仏婦連盟の活動の現況でございます。

必ず研修活動ですが、年一度の総会も、だだの総会行事にしないで、追悼会とともに研修をすることにしております。

必ず同朋講座を入れております。毎年高名な先生のご講演もお願いし、かなにらず話し合い法座をもつことにしており

(仮題代表 加藤 幸代)

